

報告：「地域での SI 研修会の活動紹介及び地域別交流会」を終えて

2022年4月

教育局教育指導部

教育指導部では、地域ごとの会員の教育研修に関するニーズを把握することと、会員同士のつながりを深めることを目的に2022年3月13日（日）13：00～15：00にWeb交流会を開催しました。休日にも関わらず参加していただいたSI会員の皆様ありがとうございました。

まず水上伸子氏から、北海道の感覚統合研究会の活動を紹介して頂いた上で、その話題を含め、地域単位での交流会を行いました。

参加者は22名で、スタッフ8名に加え、土田会長と日田副会長にも参加していただきました。地域を北海道地域、関東地域、東海・近畿地域、九州地域として、関東地域のみ2つの合計5グループ、約5人構成で意見交換を行いました。

以下、各グループでの話の内容を「参加動機」「交流した内容」に分けて、その要旨を紹介させていただきます。

【参加動機】

- 交流の場をもちたい
 - ・ 周りに小児をやっている SI をやっているメンバーが少ないため、そういう方がつながる場があるといいと思って楽な気持ちで参加した。
 - ・ 知り合えて、勉強会もできたらいいと思っている。
 - ・ OT がどこにいるか知るきっかけになるとよいと思って参加した。
 - ・ 遊具提供者として、対等な話ができるよう知識を深めたい。
- その他
 - ・ 認定講習会を希望して受講できない、受講の準備ができない、受講できる環境ではない。
 - ・ 病院に就職せずに児発放デイに入っている人も増えているが感覚統合の情報が無い。

【交流した内容】

- 日頃の思い
 - ・ 学会に研修会の講師などをお願いするにも敷居が高く、相談窓口も分からない。
 - ・ 若い人は、SI を知らないという人も多い。もっと身近になると良いと思う。
 - ・ 認定コースを受講するために必要な標準検査の実施と資料作成、治療場面の動画撮影、認定コースやアドバンスコースの日程の確保など、日頃忙しい臨床の中で、どのように行っているか、どのように時間をつかっているのか、情報交換をしたい。
- 学ぶ機会
 - ・ 各地域で OT や SI を学べる施設など、マップ化されていると相談相手が探しやすい。
 - ・ 研修会の開催は、対象者、ニード（SI の基礎、応用を学びたいのか、講義なのか実技なのか、など）に応じて行くとよいと思う。しかし地域の保育士等を対象に事例検討会を開催してきたが、咀嚼できない方もいて、難しい。また、勉強会の継続も参加者の差によって運営が難しい。
 - ・ オンライン形式の研修会は、受けやすく、いろいろ活用もできるかもしれない。

以上